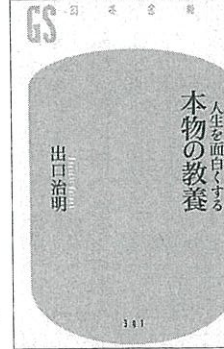


想像がつくが、創設者である塾長が「梅津昇一」という人物。電電公社(当時)を退職後、次世代の指導者を育成する目的で87年に設立。一業種一社に限定した会員の大手企業から選ばれた30~40代の

説明できない教養の定義



として、例の(人文社会科学系)部の組織の廃止や社会的要請の高低分野への転換、方針には各方面から異論が続出している。『は』は「本物の教養」というところが、かえって如何物(いかもの)であるが、言いたいことは分かる。しかし、教養の定義とは何だろうか。かなりの教養がないと説明できない気がする。

イラスト・吉田光彦



建などでかなり浪費したとはいえ、まだまだ十数万の兵を集めるだけの蓄えはあった。そこで治長がまず最初に目をつけたのが、父とともに「徳川を2度破った男」真田幸村である。治長は支度金を出して幸村を豊臣軍に招聘(しょうへい)した。幸村は直ちにこれに応じた。

ちなみに最近、この昌幸の次男を幸村と言わず信繁と呼ぶ。なぜそうなったか。そもそも彼が父にもらった信繁という名前は、確実だと思っている。

なせ、そんなことが言えるか。そもそも彼が父にもらった信繁という名前は、確実だと思っている。

「幸〇」という名前が改名したのには、確実だと思っている。

なせ、そんなことが言えるか。そもそも彼が父にもらった信繁という名前は、確実だと思っている。

大阪城入城の際、改名した名か

大名で豊臣家に味かといえ、例によって「史料がなければ事実とは認めない」とする学者の先生方が「彼が幸村と名乗ったという史料はない。だが以前から信繁と名乗っていた

大名で豊臣家に味かといえ、例によって「史料がなければ事実とは認めない」とする学者の先生方が「彼が幸村と名乗ったという史料はない。だが以前から信繁と名乗っていた

大名で豊臣家に味かといえ、例によって「史料がなければ事実とは認めない」とする学者の先生方が「彼が幸村と名乗ったという史料はない。だが以前から信繁と名乗っていた

『渋谷教育学園はなぜ共学トップになれたのか』 田村哲夫著

毎春、週刊誌をにぎわす東大合格者数ランキング。開成、灘、桜蔭といった伝統の男子校・女子校が名を連ねる中、新鋭の共学校「渋谷」が近年トップ10入りしている。

また「公立王国」といわれる土地柄の中、地柄の中、県立千葉高校を抜き去り、全国屈指の進学校へと急成長を遂げたが、この「奇跡」の秘訣(ひけつ)とは何なのか。全国の学校関係者が知りたがる解答が本書に書かれている。

急成長の秘訣とは

とにかく著者である校長の博覧強記ぶりと、時代の流れを読む力がものすごいのだ。とりわけグローバル化をふまえて海外大学への進学を先駆けた点は、特筆に値する。

また、系列の「渋谷一も女子校を共学化する学校改革に成功し、渋谷を急速に追い上げる進学校となった。これも男女共同参画の流れを著者が的確に読んだ結果だ。

卒業生の日テレ水卜麻美アナ、J1名古屋の田中マルクス闘莉王選手、平野拓也・日本マイクロソフト社長のインタビュも充実している。

中公新書ラクレ・840円+税

『しなやか血管とサラサラ血液はえごま油でつく』 井上浩義著

今年6月、米国のFDA(米国食品医薬品局)がトランス脂肪酸を多く含む油脂の使用を禁止すると発表した。これを受け「米国ではマーガリンが使用禁止」と大騒ぎとなった。

マーガリンにはLDLコレステロールを増やし、動脈硬化や心臓病を引き起こすトランス脂肪酸が多く含まれるからだ。逆に同じ脂質でも血管をしなやかにし、血液をサラサラにして脳心血管系の病気を防ぐ。

優れた効能を紹介

本書で採り上げる「えごま油」は、そうした効能を持つ「αリノレン酸」を豊富に含む。これまでもあまり気を使わずに使い続けてきた食用油を「えごま油」に替えるだけで血管が若返るのだ。

テレビやマスコミで活躍する「油研究」の第一人者が「えごま油」の優れた効能を他の油脂と比較しながら解説。本の後半には簡単に風味が味わえるレシピも紹介。読んで、見て、味わって、納得できる1冊だ。

アーク出版・1300円+税

ビジネス

疲れてる 帰らなきゃならぬ 遠い家

それでも途中下車する心の空腹

後悔したため 後悔したため

後悔、バーゲン中に立たず

はがきで★100-8160夕刊フジ報道部「ビジネス川柳」係★住所、氏名(雅号)を職業、年齢、電話番号を明記★掲載作品には薄謝★月～金曜掲載。どしどしご応募ください。